

駒木会報

第24号

発行日:2024年10月1日
発行:江戸川大学駒木会
所在:千葉県流山市駒木474
電話:04-7152-0661

2024年度 ホームカミング・デー開催のご案内

5年ぶりに交流パーティーを開催!!

ホームカミング・デーを開催いたします。
今年度は総会後の交流パーティーも開催いたします。
皆様のご参加をお待ちしております。

日付：2024年11月3日(日・祝)

会場：江戸川大学駒木キャンパス

B棟（図書館棟）6階 B601教室

15:30～ ・受付開始

16:00～ ・駒木会総会

駒木会の運営等について審議します。

・交流パーティー（参加無料）

総会終了後に、先生方を交えてパーティーを行います。

※詳細は駒木会WebサイトまたはSNS（facebook、X）をご確認ください。



ホームカミング・デー
特設サイト

<https://event.komakikai.jp>

2023年11月3日 ホームカミング・デーが4年ぶりに復活!!



2023年11月3日、4年ぶりにホームカミング・デーが開催されました。2023年5月に新型コロナウイルス感染症は5類感染症となりましたが、密な状況となる交流パーティーについてはひとまず見送ることとなりました。

新たな企画として「Komaki Homecoming Cafe」という交流スペースを設置しました。卒業生が集うカフェをテーマに、オリジナルデザインのおやつなどを用意して、待ち合わせや歓談などにご利用いただけるスペースとしました。パーティーとは異なり、一度に大勢の方が集まるイベントではありませんでしたが、同級生同士やご家族そろってなど、多くの方にご来場いただきました。

また、懐かしい学生時代の写真を大型タッチパネルモニターで自由に見られるシステムを試験的に設置しました。こちらは多くの人に興味を持っていただき、世代が離れた、お互いに面識のないと思われる方同士でも写真を見ながら自然に会話が始まっている様子でした。

一方、これまでオンライン開催が続いていた総会ですが、今回は会場とリモートでのハイブリッド開催となりました。総会では役員選挙結果の報告や2022年度活動報告・会計報告、2024年度活動計画及び予算計画、駒木会会則改定について議論が行われ、いずれも賛成多数で承認されました。（詳細については3面の総会報告をご覧ください）

江戸川大学で取り組んできたこと

江戸川大学前学長
小口 彦太



8年前に江戸川大学長に就任し、そのさい江戸川大学の国際化と情報化（情報化時代に即応できる人材育成）に努めることをお約束しました。まず、国際化についてであります。正規の大学間協定をマッセイ大学（NZ）、ポートランド州立大学（米国）、ウィネブゴ大学（カナダ）、華中師範大学（中国）、上海外国語大学（中国）、ボンド大学（豪州）、シーナカリンウィロート大学（タイ）、釜山外国語大学校（韓国）の各大学と締結し、国際交流の制度的枠組を構築し、従来の語学研修、異文化交流のほか、正規留学の要件とされる語学力のスコアをクリアして、実際に留学生を相手大学に恒的に送り出すまでになりました。また、本学も相手大学から留学生をすでに受け入れております。

また、経済のグローバル化のためには共通言語としての英語力が強く求められます。そこで、その具体的目標として、TOEICの受験を奨励し、2017年度は600点以上のスコア取得者は6名に止まりましたが、2023年度は15名にまでその数を増やしてきました。まだまだ、当初の目標には届きませんが、継続は力なりで、今後とも着実に高得点を輩出していくものと確信しています。

何故、私がこのような正規留学生の実績や英語の得点のことにこだわるかと申しますと、財務省の某主計局次長の講演の中で、教育の質保証ということをやつたのであれば、そのエビデンスを示してくださいということをお聞きされたことにもよります。

そのことは、もう一つの重点課題とした情報化時代における人材育成についても言えるわけでありませう。そこで、情報系の各種資格取得を奨励し、MOS

やITパスポートの資格のほか、より取得が難しい基本情報技術者試験や応用情報技術者試験にも途切れることなく合格者を出すようになりました。

ところで、情報化に即応できる人材育成という場合、情報通信技術という手段を身に着けると同時に、それを各種の仕事に応用する能力を身に着けることが求められます。そのテストパイロットプログラムとして、先ずマス・コミュニケーション学科と情報文化学科のコラボによる人材育成に着手することになりました。

ところで、過日、江戸川大学のスクールバス停車場にてバス待ちをしていたとき、前にいた学生3人が、現代社会学科のある科目の先生の話を喋っていたので、ついついその話に割り込み、「その先生の授業はどうですか」と質問したところ、その学生の一人が少し間をおいてから、「ちょっと難しいけど、とても面白いです」と答えてくれました。そうです、これこそが高校時代までの授業では味わえない、大学ならではの講義ではないでしょうか。「あつ、そうか、そういうことか」と腑に落ちる講義であります。このような講義は、教師自身が日常的に研究に励んでいなければいけないものではありません。

随分前になりますが、アメリカのバージニア大学を訪問したとき、その卒業生担当のスタッフの方に募金の秘訣は何ですかと聞きましたところ、すかさず「それは教室の中にあります」との返事が返ってきました。江戸川大学でも質の高い教育に努めるつもりであります。今後とも、江戸川大学に対するご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

EDO-NET事始め

江戸川大学名誉教授
宇野 正人



江戸川大学ネットワークインフラ EDO-NET (Education Development Open Network System) が東京大学を中心とした東京地域アカデミックネットワーク (TRAIN, Tokyo Regional Academic Internetworking) に参加接続させていただき、江戸川大学にインターネットが導入されてから30年が経つ。時が経つ早さを実感する。

日本において大学関係以外でインターネットが一般化普及するのが1996年、初代ガラケー発売が1999年、初代iPhone発売が2007年。EDO-NETは情報化の急激な波に乗り遅れず今日を迎えている。私はありがたいことにEDO-NET構築には最初から参加させて頂いた。私が目指した目標は以下の3点だった。

(1) EDO-NET構築に際して管理者視線でなく、徹頭徹尾、ユーザー視線で臨む。すなわち、ユーザー（学生）が容易にインターネット環境に馴染み利用出来る環境を構築する。

(2) 江戸川大学は開学当初から学生全員にノー

トパソコンを貸与している。となれば、学内どこにいてもインターネットを享受出来る環境を目指す。当時、日本国内各大学でのインターネット環境は特定教室での固定端末による環境だった。それが常識だった。それを鑑み、現在、スマホやパソコン等でのネットワークでは当たり前になっている、当時米国で開発中のネットワーク設定自動割り当て方法 (DHCP, Dynamic Host Configuration Protocol) を導入した。構築前、他大学情報システム関係者たちからは夢物語と揶揄されたが、きちんと成功した。日本国内でDHCPを導入した最初の大学が江戸川大学である。

(3) 江戸川大学学生が友人知人等に胸を張って自慢出来る「モノ」を創出する。江戸川大学学生としてのプライド醸成に資するEDO-NETの構築。

変化が激しい現代情報社会にあつて、30年経った現在でも、EDO-NETのネットワークポリシーに変化がない。私の密かな自慢である。

一年前のはなし

メディアコミュニケーション学部
マス・コミュニケーション学科
2012年3月卒業（第19期卒業生）
依田 裕美



「駒木祭に行きませんか？」義姉にそう誘われたのは昨年の11月3日の朝の事だった。すなわち、卒業をしてから随分と訪ねていない。いや、むしろ避けていたくらいだったから、正直行きたくないと考えていた。卒業後、足が遠のいていたのには理由がある。私は就職できなかった。それは当然の報いである。と自覚しつつも、就職したら幸せというようには考えられなかった。就活を否定している訳ではない。少なくとも、親や教授らは喜んでくれる。自分自身も次の行き先を得ることができる。それでも気が進まないのは、生来の自信の無さと、世間の就活圧力のようなものに辟易としていたのだと思う。2013年3月、私は何者にもなれず、無職のまま卒業をした。

あれから11年経った。当時は生まれていなかった甥っ子も小学四年生と一年生だ。「コロナ禍が終わって、子供たちが遊べるものとか、お店とかあるみたいなんです。楽しそうだし、ひろちゃんもどうかって」と私とは対照的に笑顔で話す義姉は、なんと江戸川大学総合福祉専門学校の卒業生なのだ。だから彼女にとっても母校を

訪れる機会なのである。私は考えた。必死に選んだ大学の最後の思い出があのままいいのだろうか。

私は経済的理由から高校を卒業したら大学に行かず働こうと考えていた。しかし、祖母の勧めにより大学進学にいたった。ご存知の通り大学進学には多大な費用がかかる。だから私は「大学選び」に四つの条件を決めていた。実家から通え、交通費が少なく、自分の学びたいことが学べ、自分の学力でも入れるところ。それが合致したのが江戸川大学だった。ここに入学し、何が何でも自分の血肉にして、卒業してやる。そういう気持ちで入学したのだった。

そんな思いで入学した学校なのに、卒業して近寄れませんというのは何だか寂しい。喧嘩別れした恋人のような、気まずさがある。10年以上経った今なら繕いを戻すチャンスなんじゃないだろうか。ここが私の正念場かもしれない。

夕方、帰りの電車で「今日、来て良かったよ」と私は甥っ子に呟いた。彼は「うん」と小さく応えてくれた。

大学近況

■学長に宮崎孝治先生が就任

小口彦太前学長の任期が2024年3月で満了し、4月より宮崎孝治先生が学長に就任しました。
任期は令和6(2024)年4月1日から令和10(2028)年3月31日までの4年間になります。

■経営社会学科の学生が運営するECサイト誕生

2024年7月、経営社会学科ファッションビジネスコースの2年生が中心となり古着系ECショップ「TIME STOCK EGA」を立ち上げました。
1990年代から2000年代のビンテージ古着を中心に、学生がサイトデザイン、買い付け値決め、決済発送、在庫管理、SNSによるプロモーション活動までを運営コントロールします。

なお、一連の業務は江戸川学園の事業会社である「株式会社江戸川学園」を通じて行われます。このサイトによって生み出される利益(経費を除く)の一部は、公益社団法人日本自然保護協会に寄付され、水資源問題や森林保全、自然観察指導員の養成に生かされる予定です。

サイト名: TIME STOCK EGA

アドレス: <https://timestockega.theshop.jp/>

扱い商品: 古着類

販売期間(テストセール): 2024年7月20日(土)~9月25日(水)

■経営社会学科・仁志敏久客員教授が内川聖一氏を招き特別講義を実施

去る7月3日(水)、前・横浜DeNAベイスターズのファーム監督で本学の客員教授を務める仁志敏久先生が自身の担当科目「スポーツ指導者論特」にて元ヤクルトスワローズの内川聖一氏を招き、特別講義を実施しました。

内川氏は「少年野球時代の指導者は、結果も大事だけど日々やるべきことをしっかりとすることがもっと大切だと説いてくれた。結果が出ず自分が沈んでいる時は見逃さずに声をかけてくれた。この出会いがあって、今の自分があると思う。」「巨人という強いチームから移籍してきてチームメートとなった仁志さんに、「あのプレーの意味は?」と毎日のように質問攻めにしていた。「考えて野球をする」とはどういうことかを教えてもらった。と落ち着きながらも熱のこもった語り口は、受講者へのエールのようでもあり、学生は内川さんのお話に引き込まれていきました。

■電波放送部の学生が「FMふくろう」にて生放送番組を開始

2024年4月より、電波放送部(FM-ERS)の学生が千葉県八千代市のコミュニティFM「FMふくろう」にて生放送番組を開始しました。

番組名は「きらめきトキメキ教えてラジオ!」現役大学生が「きらめきもの」と「ときめきもの」を探し、リスナーのみなさんにお届けします。放送日は毎月第4水曜日午前10時30分からの30分番組になります。

番組Webサイト: <https://296.fm/program/kirameki/>

2023年度 江戸川大学駒木会収支報告

2024年3月31日

【前年度繰越金】

合計	¥136,362,381	
----	--------------	--

【収入の部】

校友会費(終身・5ヶ年会費)	¥18,259,000	終身589<継続0>、5か年0<継続0>
寄付等雑収入	¥5,000	
利息	¥1,140	
合計	¥18,265,140	

【支出の部】

同窓会報および総会案内発送費	¥1,551,231	
ホームカミング・デー開催費	¥248,540	
学園祭パンフレット広告費	¥10,000	
情報発信強化	¥117,053	Webサーバー利用費・ドメイン利用料 会報作成用ソフト
交通費・通信費・消耗品費	¥11,829	
合計	¥1,938,653	

【翌年度繰越金】

翌年度繰越金	¥152,688,868	【前年度繰越金】+【収入】-【支出】
--------	--------------	--------------------

2025年度予算案

品目	金額
同窓会報および総会案内制作発送費	¥1,800,000
ホームカミング・デー開催費	¥1,550,000
学園祭パンフレット広告費	¥50,000
交通費・通信費・消耗品費	¥300,000
会員サービス強化費(住所追跡・情報発信)	¥1,000,000
合計	¥4,700,000

活動報告

駒木会では3ヶ月に1回程度、理事会・評議員会を開催したほか、下記の通り活動を行ないました。

2023年

- 6月 2023年度の基本方針等について打ち合わせを実施
 - 7月~ ホームカミング・デーについて議論
 - 9月 駒木会会報を発行
 - 10月 総会について最終調整
当日スケジュールの確認
 - 11月3日 ホームカミング・デー及び総会を実施
- ※ホームカミング・デーについて詳しくは今号1ページ目をご覧ください

2024年

- 2月~ 駒木会報の記事、ホームカミング・デーイベント等について議論
- 3月15日 卒業生へ向けて会長よりメッセージを発表

この他にもWebサイトやソーシャルメディアでの情報発信をしています。

総会報告

2023年度 第24回駒木会総会のご報告

詳細や関連資料についてはWebサイトの総会報告をご覧ください。

任期満了に伴う役員選挙結果報告

(会報第23号に掲載)

活動報告及び決算

- ・2022年度活動報告
 - ・ホームカミング・デーの中止及び駒木会総会の開催
 - ・駒木会報第22号の制作
 - ・インターネットでの情報発信
 - ・その他新型コロナウイルス感染症の影響及び対応について
 - ・2023年度中間報告
 - ・2022年度会計報告(会報第23号に掲載)
- なお、決算については監事による監査を受けております。

審議事項

- ・2024年度活動計画(会報第23号に掲載)
 - ・2024年度予算計画(会報第23号に掲載)
 - ・駒木会会則改定(役員再任の制限を一部緩和)
- すべての案件が賛成多数により可決されました。

2025年度 駒木会活動計画

駒木会では卒業生同士のつながり「卒業生ネットワーク強化」をキーワードとして、各事業への卒業生参加の推進、卒業生の住所追跡事業、情報発信機能の強化などに取り組んでまいりました。

一方、会則改定などによってスタッフが参加しやすい制度へ変更を図っておりますが、引き続き役員・スタッフの不足によりこれらの活動に十分取り組めていない状況が続いています。

このような状況でも駒木会の活動を継続できるよう、「持続可能な駒木会」をテーマに、組織のあり方や制度などの見直しを含め検討を続けてまいりたいと考えております。

【組織運営】

2020年に実施した会則改定により、各会議へスタッフが参加しやすい制度となりました。引き続き役員・スタッフの一人あたりの負担を削減し、参加のハードルを引き下げ、より多くの方にご参加いただけるよう取り組んでまいります。また、在学生にも駒木会の活動を知っていただき、卒業後の参加につながるような取り組みについても検討してまいります。

【制度面】

理事会と評議員会の区別があいまいだった運用を見直し、評議員会については会議で拘束される時間を極力短縮するなど、参加しやすい仕組みづくりに取り組んでまいりました。また、2023年の会則改定により、再任の制限を一部緩和したこと当面の運営のめどは立ちましたが、引き続き限られた人員で運営していることには変わりありません。

引き続きスムーズな運営に向けて検討を進めてまいります。

【会員サービス】

これまでの「卒業生ネットワーク強化」という方針を継承し、会報発行等を継続的に実施してまいります。

・卒業生データベース整備事業

卒業生の住所追跡及び卒業生データベースの整備を引き続き推進いたします。

また、外部委託化による業務効率化やサービスの充実などを検討してまいります。

・ホームカミング・デーの継続の実施

総会とともに実施している「ホームカミング・デー」は毎年100名を超える方々にご出席いただいております。駒木会としては最重要イベントと位置づけています。

今後も継続的に実施するとともに、より多くの方に参加していただけるイベントとなるよう、継続的に改善を進めてまいります。

・情報発信の強化

会報などの紙媒体だけでなくWeb、ブログ、X(Twitter)、Facebookなどを活用した情報発信を行ってまいります。

また、卒業生データベース整備事業と合わせ、会報の到着率向上を目指してまいります。

※会報が届いていない方は住所変更手続きをお願いいたします。

【選挙後の新体制について】

現執行部は今年度末で任期が満了するため、年度内に駒木会役員選挙を行います。したがって、2025年度の駒木会執行部は選挙後の新体制となります。新体制での活動方針につきましては、次年度の会報や総会にてご説明させていただきます。ご予定です。

寄附金の募集について

2024年3月より、江戸川大学では寄附金(教育振興資金)の応募を受付開始いたしました。

新しい時代に相応しい人材育成を更に前進させるためにはより良い教育環境の整備や文化・スポーツ等の課外活動に対する支援が必要となります。

ついては、誠に恐縮に存じますが、かかる趣意をご賢察いただき、格別のご配慮、皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人江戸川学園は、寄附金の募集について文部科学省から「税額控除対象法人」及び「特定公益増進法人」としての証明書交付を受けております。

募集目的	江戸川大学の教育研究振興に対する支援
寄附金額	個人/1口10,000円 法人/1口100,000円

申し込み方法など、詳細につきましては江戸川学園のページを参照ください。
<https://www.edogawagakuen.jp/donation/>

親子割・きょうだい割のご紹介

江戸川大学建学の精神を継承することを目的とした学費等の減額制度があります。

■親子割・・・

対象：江戸川大学・短期大学・女子短期大学を卒業した者の戸籍上の子で、江戸川大学の正規課程1年次入学者。

免除額：入学時に入学金(32万円)を全額免除。年間学費の半額(55万円)を入学後4年間免除。

■きょうだい割・・・

対象：江戸川大学に在学している者の戸籍上の兄弟姉妹で、本学の正規課程1年次に入学する者。江戸川大学を卒業した者の戸籍上の兄弟姉妹で、本学の正規課程1年次に入学する者。

免除額：入学時に入学金(32万円)を全額免除。年間学費のうち35万円を入学後4年間免除。

詳細は入学課(0120-440-661)までお問い合わせください。

駒木会役員選挙実施のお知らせ

駒木会執行部の現体制が2年目を迎え、2025年3月末日をもって任期満了を迎えるため、役員を選任を行います。

会長については正会員から候補者を募り、評議員会にて選挙が行われます。他の役員についても会則・役員選挙規定に則り評議員会にて選任されます。

会長の立候補については選挙管理委員会設置後、Webサイトに詳細を掲載いたします。また、他の役員、評議員、スタッフについても興味のある方は駒木会事務局までご連絡ください。

会費納入のお願い

駒木会の運営は、皆様の会費によって支えられております。ご協力をお願いいたします。

会費納入につきましては永年/5ヶ年からお選びください。2010年度入学者以降は学納金と同時徴収のため永年会費納入済みとなります。

■永年会費：¥30,000(今後会費納入の必要は一切ございません)

■5ヶ年会費：¥5,000

※初回納入の場合、別途入会金¥1,000

また、寄付も受け付けております。

払込取扱票記入事項(ゆうちょ銀行)

■口座番号：00110-3-67407

■加入者名：江戸川大学駒木会

■金額：納入金の総額

■通信欄：納入金内訳(永年会費・5ヶ年会費・寄付金)

卒業生ご本人の現在のお名前と住所、在学当時の学籍番号

(会報送付封筒に記載しております)

■支那人住所氏名：会費をご納入された方のお名前と住所

お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

●編集後記

飲食業界はお客様あつての仕事だなぁと痛感する超繁忙期をなんとか乗り越えて、コロナが遠く懐かしく思っている時に両親が初めてコロナに罹りました。しかもタイミングが悪く、減多に揃わない親戚一同が集まる会の前々日のことでした。

私が働く宴会場でも、欠席者から届く電報に「昨日発熱して」とか「コロナに罹患して」というメッセージがチラホラと目立つようになってきました。年に一回の機会に行けずとも残念、と思いが綴られています。

いつ何が起こるか分からないこのご時世、会える時に会えるのはとても幸運なことなんだ...と実感するのです。(K)

●駒木会への連絡先

■メールアドレス komaki@edogawa-u.ac.jp

■郵便 〒270-0198

千葉県流山市駒木474

江戸川大学駒木会事務局

■電話 04-7152-0661(江戸川大学代表)

駒木会事務局 宮崎(みやざき)

住所変更フォームはWebサイトがございます。

■Webサイト <https://komakikai.jp/>